

NPO 法人医療的ケアネット



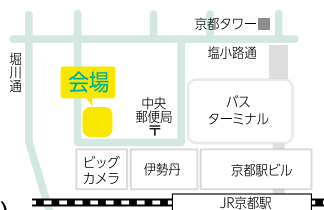
シンポジウム

今年1月19日のシンポジウムでは、①喀痰吸引と経管栄養の第三号研修の実施から6年が経過、研修や認定が現場でどう具体的に展開されているのか、②学校看護師の働きの評価と役割、身分保障も含めて現状把握と今後の展望について議論しました。特に②の学校看護師問題に議論や意見が多く出されました。

今回のシンポジウムでは、引き続き学校看護師問題を中心に、福祉事業所における看護師の役割、身分保障についても、今後の展望を拓くべき議論を行います。

2019年6月16日(日)
13:00開会～16:30(開場・受付 12:30)

キャンパスプラザ
京都2階ホール
(京都駅烏丸口ビックカメラ前)



- 定員 ● 90名 (定員に達し次第、締め切り)
 参加費 ● 会員 (当日入会受付でもOK)、障害当事者・ご家族1,000円
 非会員1,500円 (入会費2,000円、年会費3,000円 (個人) など)
 ※シンポジウム参加のために「配慮が必要な場合」は申込時にご連絡ください
- 自主交流会 (18:00～19:30)
 - 2019年度総会 (16:45～17:15)

プログラム

医療的ケアにおける 看護師のあり方を考える

学校、事業所での役割と看護師、当事者・家族の思い
コーディネーター・司会
高田哲氏 (神戸市総合療育センター長)

基調講演

看護師の立場から看護教育について

勝田仁美氏 (兵庫県立大学看護学部教授)

文科省通知 (2019年3月発出) 「学校における医療的ケアの今後の対応について」検討会委員の一人。NPO法人医療的ケアネット編『たんの吸引等第三号研修 (特定の者) テキスト——たんの吸引、経管栄養注入の知識と技術』執筆も担当。

指定報告

当事者・家族、事業者の立場から 看護師に臨むこと

① 武政千尋氏

(神戸市・特定非営利活動法人ヘルパーGOGOの理事長)
家族および福祉施設の代表両方の立場から

② 教育、福祉関係者の立場から

医療者への注文
学校と福祉分野から

● 質疑応答 & 討論

申込書
送信先

FAX. 075-693-6605

mcnet-info@mcnet.or.jp

NPO法人医療的ケアネットシンポジウム ● 参加申込書

※全てご記入ください

申込者の氏名	(フリガナ)	申込者の職種	所属団体施設など
申込者の連絡先	(住所) 〒 - (TEL) (FAX) (E-mail)		① 当事者・家族 ② 会員 ③ 非会員 ※いずれかに○印をお願いします
自主交流会 (会費4,000円)	参加 ・ 不参加	※どちらかに○印をお願いします	

申込締切日 2019年6月10日(月) ※ただし、定員になり次第、締め切ります。

※FAXとE-mailのみでの申込受付とします。 ※記入いただいた個人情報は、セミナーの案内など「医療的ケア」に関する情報提供のみに活用します。

